

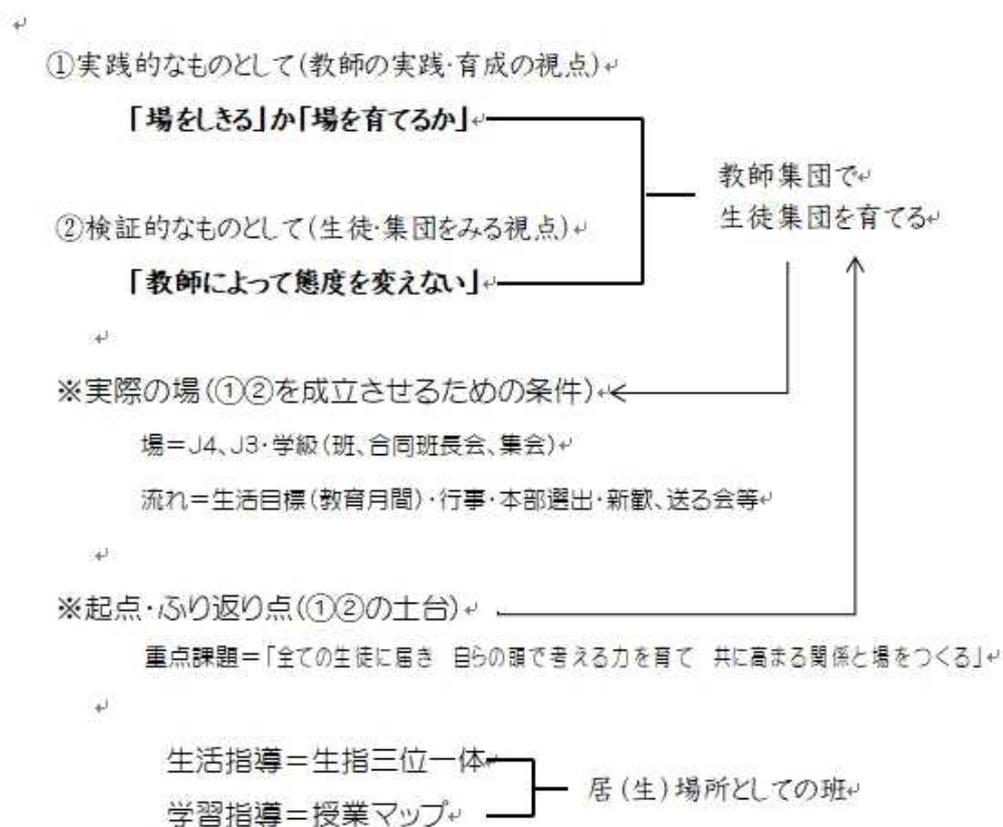
2020年度 学級・学習指導活動方針

学級・学習指導推進委員会

【昨年度の課題】

集団づくりにおける枠組みが整い、システムが形骸化を懸念し、何のために「窓」や「生活目標」があるのか、点検活動のねらいは何なのか、合同班長会でどんな力をつけたいのか等々、「めざす生徒像」に立ち返り、システムや取り組みの意味を教職員・生徒が理解していく必要がある。

今、本校は「管理段階」から「自主運営段階」にきていると思われるが、「教師の言うことをきく生徒が良しとされる」範囲を超えていない。日常のSTの場面や非日常の行事の場面で、場の設定や入れ込みを繰り返しながら、課題を持つ生徒にどうなって欲しいのか、どんなリーダーを期待するのか等を教師がしっかり持つことが望まれる。これらのことを確認した上で、合同班長会の持ち方や中身、クラス班長会との連動のさせ方など、形の面での整理、心（なぜ）の面の確認をしていきたい。



★

69期生 贈る言葉

「仲間＝全員 ～つながりから成る絆～」

1. 活動方針(目標具体化のための細案)

1. 【活動方針の柱】

日常ですべての生徒が生きる場所を創ろう

— 生活指導三位一体として —

キーワード

班 = 家 = 生場所

昼食時、予鈴前、共同学習、休憩時 = 顔を見て、名前を呼びあう関係

2. そのための具体策

【4つの原則・2つの努力目標】

〈課題生(気になる生徒)を始めとしたすべての生徒の課題で生きる班にするために〉

〈課題生(気になる生徒)を始めとしたすべての生徒の課題で生きる班にするために〉

原則

① 学年で、窓の具体的方針を持つこと

② 昼食時以外での「班 = 居場所」を作ること

③ ST を大切にすること

④ 生指のオープン化に努めること

努力目標

① 各種委員会は恒常的な活動を創ること

② リーダーの日常からの押し出しに努めること

3. 【月間目標の設定と活用】

	月	生活目標	生徒会活動	年間の流れ	
土台・型はめ・入れ込み	四月	ゴールを見つけよう	集会（始業式） 新入生歓迎会 部活紹介、認証式 学級委員会	学級開き	
	五月	準備・構え・礼・聴く	各種委員会（前期） 全校合同班長会 集会、学級委員会 J4点検	試運転	
	六月	仲間のいいところを見つけよう	集会、学級委員会 「優しさの木： いいところ探し」	点検と 土台作り	教育月間 (つながり月間)
	七月	服装を正しく	集会（終業式） 学級委員会		
点検・チャレンジ・待ちの姿勢	九月	責任を果たそう	集会、学級委員会 全校合同班長会	一体感・成就 感と自覚	
	十月	行事から日常に	集会、学級委員会、認証式 生徒会役員選挙 各種委員会（後期） 全校合同班長会		
	十一月	私・仲間・クラスを 振り返ろう	集会、学級委員会 「優しさの木：仲間の成長」	年間最大の ヤマ	教育月間 (つながり月間)
	十二月	時間を守ろう	集会（終業式） 学級委員会、名札点検	日常の 通常運転	
本格始動・評価	一月	物を大切にしよう	集会、学級委員会 全校合同班長会		
	二月	先輩になる自覚（1, 2年） 三年間の振り返り（3年）	学級委員会 新入生説明会 三年生を送る会		
	三月	仲間に「ありがとう」	集会（終了式）	振り返り	

1、『集団づくり』3つの“づくり”

- ① 子どもどうしの仲間づくり
② 子どもと教師の人間関係づくり

+ ③ 保護者との協働づくり

- ① 子どもどうしの仲間づくり(三位一体・集団)
⇒ 「みんな仲良く」ではなく、個性や課題を出せる居心地のいい関係
- ② 子どもと教師の人間関係づくり(三位一体・接点・秩序)
⇒ 課題生とつながり、課題生のあり様にクラスの“今”が映る
- ③ 保護者との協働づくり(三位一体・接点)
⇒ 保護者と教師との大人としての成長を目指した協働づくり。保護者は学級づくりのサポーターであって欲しい。